

## 3. 分科会

### (1) バンコク都

#### 経済成長のための戦略的アプローチ

バンコク都 知事諮問機関委員長 ヴァロップ・スワンディー

バンコク都は、持続可能で住みやすく、活気溢れる都市を目指すとともに、「豊かな社会」となるべく取り組んでいる。「豊かな社会」とは、1)居住性、2)生涯教育、3)多様な経済機会、4)市民参加を特徴とする社会である。多様な経済機会とは、具体的には、商業やサービスの分野で都市経済システムが発展すること、バンコク都内の様々な地域で専門技術や知識を有する人々に対する経済機会が増加して専門技術や知識が更に発展すること、製造技術が提供されていること、資源が公正かつ公平に利用できることを意味する。

バンコク都には、持続可能な都市になるための戦略が5つある。第1は「地域のメガシティとしてのインフラ強化」、つまり、都市部とその周辺のインフラネットワークを広げていく。第2は「経済力のある知識ベース社会の構築」。知識と経済の基盤を強化するためにあらゆる分野において有望な人材を採用し、バンコクの人材育成を図る。第3は「グリーンなバンコクを目指す」。バンコク都は都市生活の環境面での持続可能性を改善する取り組みに着手している。第4は「文化的なメガシティにおける質の高い生活の提供」。人々の安全及び危機管理を行い、文化的多様性を奨励する。最後は「最良サービスを提供し、メガシティ管理のモデルを構築する」。公共サービスの効率を高め、大都市管理のモデルとなることを目指す。

#### インフラ投資に関する政策

バンコク都は、総額 17 億 1429 万米ドルをかけて、4つの交通インフラプロジェクトに着手している。

- スカイトレインの延長プロジェクト：バンコク地区とその周辺の合計 42.95km を結ぶ5路線（14 億 2857 万米ドル）
- モノレールプロジェクト：4路線の試験的プロジェクト（1 億 4286 万米ドル）
- バス高速交通システム（BRT）プロジェクト：6路線（1 億 1429 万米ドル）
- 2本の主要な運河の水上バス（2857 万米ドル）
- 一般市民のセキュリティ用 CCTV カメラの増設

#### 経済開発計画

バンコク都は「経済力のある知識ベース社会の構築」を目指した経済開発計画に関する戦略を発表している。バンコクは現在、タイの経済、商業、農業、産業及び投資の中心となっている。バンコクの経済発展は、中央政府機関、民間セクター、国営企業、バンコク住民による団体のさまざまな計画と強く結び付いていることが実証されている。

採用されたのは、次の5つの主戦略である。

戦略1：人々に起業スキルを教え、ビジネスとマーケティングの基本的知識を提供し、起業を奨励することで、新興企業が巨大かつ強力な製造ネットワークを形成できるようにする。ビジネスの形態としては、企業又は地域社会事業がありうる。バンコク全体で継続的に年間5%以上の起業増加を見込んでいる。

戦略2：「バンコクブランド」を冠する高品質製品の開発と国内外で認知されるようなブランド基準の策定（大半の中小企業には自社で調査を実施し、さまざまな種類の製品の基準を策定することは経済的に困難であるため）。バンコク都は、バンコクブランドの知名度を高めるため、製品とサービスの品質の査定者、プロモーター、サポーターとなる責任がある。2011年までに少なくとも200種類の高品質製品とサービスがブランド化される見込みである。

戦略3：バンコク都の経済、金融、投資に関する情報センターの設立。このセンターは、原材料や製品・サービスの仕様書等の関連データ及び情報の編集を行う。さらに、情報センターを通じて、見込み客は、問い合わせや資料請求の面倒な手順を踏むことなく、全製品のメーカーに関する情報にアクセスすることができる。この情報センターによりユーザの8割以上が満足を得ることができると思われている。

戦略4：起業する機会を提供し、増やすとともに、投資への新たな道を示す。かなりの数の小企業が、事業運営に関する理解不足の状態起業していることを明確に示すデータがある。バンコク都はビジネスの仲介者及び投資者としての役割を担うことが必要不可欠である。

戦略5：魅力ある旅行先としてのバンコクを開発、普及させる。観光ネットワークを通じて、各国、各都市の観光拠点と連携するゲートウェイとしての役割を担うことで、バンコク経済を強化する。この戦略により、年間最大5%の観光客の増加が見込まれる。

## 国内経済の展望

経済問題に次の2つの視点で取り組んでいく。

### 1. グローバルな視点

世界経済危機は、労働問題、エネルギーコストの高騰と供給不安、通貨及び金融状況の不安定化等を招いた。こうした結果は深刻な影響をもたらし、世界中の人々の購買力が低下し、必然的に、タイ経済、特に観光産業の収益にも影響が出た。観光地としての魅力を備えたバンコクは、国内外からの観光客をひきつけるとともに、観光客一人一人に高い満足を与えることが必須である。

### 2. タイ国内の視点

タイは民主国家であり、あらゆる問題に関する表現の自由を認めている。しかし、2010年の4月と5月の政治的事件が示すように、バンコクでデモ活動が盛んであることは遺憾なことである。

政治的な混乱が鎮静化し、社会が正常化するとすぐに、バンコク都はあらゆる手を尽くして人々の信頼を回復することを急務とした。こうした信頼が経済復興の推進力となることをバンコク都は十分認識していたためである。

こうして始まった復興キャンペーン「Together We can（力を合わせれば、私たちはできる）」には、バンコク都のほぼすべてのセクターが参加している。このキャンペーンでは、特に一般市民の参加を呼びかけ、損傷した公共及び民間の建物の修復、清掃、道路や公園等の修復を行って

いる。また、騒乱による影響を受けた人の世帯課税、不動産税、広告税を減税対象としている。被害を被った供給業者、中小企業は賃料を払わずに事業の継続ができるスペースが割り当てられるという支援も行っている。さらに、バンコク都は外国人投資家の事業助成やビジネスパートナー候補とのマッチングを行うなどのサポートを行う「チーム・オブ・バンコク」を設立し、外国人投資家の投資奨励策を実施している。



**M.R. Sukhumbhand Paribatra**  
Governor of Bangkok



**“Strategic Approaches for Economic Growth”**  
by  
**Dr. Vallop Suwantee**  
Chairman of Advisors to Governor of Bangkok



**Strategic Approaches for Economic Growth**



**Bangkok = “Community of Good Living”**

**The features of Good Living containing**

- Community of Livability
- Community of Life-Long Education
- Community of Diversified Economic Opportunities
- Community of Civic Participation



**Bangkok = “Community of Good Living”**

**The features of Good Living containing**

- Community of Livability
- Community of Life-Long Education
- Community of Diversified Economic Opportunities
- Community of Civic Participation



**Community of Diversified Economic Opportunities**



•The development of urban economic systems  
★ Commerce; ★ Services

•The enhancement of business opportunities to people possessing skills and expertise which could be further fully developed

•The provides of technologies on production, equitable and wide accessibilities to relating resources.

**Strategic Approaches for Economic Growth**



**Five Strategies for the Attainment of Sustainable Bangkok Metropolis**



1. Strengthening infrastructures for Regional Mega-City  
*- Installing progressive infrastructure networks in urban areas and perimeters*
2. Developing Strong Economy and Knowledge-Based Society  
*- Cultivating the capacities of Bangkok to embrace all dimensions of potential*



**Five Strategies for the Attainment of Sustainable Bangkok Metropolis**



3. Striving for Green Bangkok  
*- Initiating well being and improving environmental sustainability of living*



4. Providing Good Quality of Life in Cultural Mega-City  
*- Creating public safety and glorifying the wealth of cultural diversities*

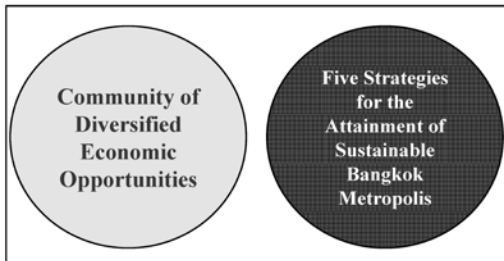
**Five Strategies for the Attainment of Sustainable Bangkok Metropolis**



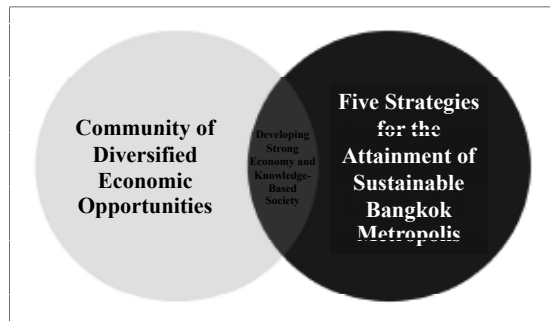
5. Mastering Best Services and Constructing Model for Mega-City Management  
*- Increasing levels of efficiency of services with an aim of becoming a model of metropolitan management*



**Strategic Approaches for Economic Growth**



**Strategic Approaches for Economic Growth**



**Five main sub-strategies to be utilized**

1. *Installing people with entrepreneurial skills and encouraging them to establish their own business by means of providing them with basic knowledge in business and marketing*



*Anticipating that economic at grass root levels could be formed vast and strong networks of production could be developed single or community enterprises could be formed Bangkok Gross would be continually increased to 5% or above annually*

### Five main sub-strategies to be utilized

2. *Developing qualitative products leading to products of "BANGKOK BRAND"*



*Developing products standards to be widely known and recognized at domestic and international markets  
Assuming the roles of assessors, promoters and supporters of quality of products and services in order to be widely recognized  
Anticipating that at least 200 products and services could be branded by 2011*

### Five main sub-strategies to be utilized

3. *Establishing Information Center for Economy, Finance and Investment in Bangkok Metropolitan*

*Compiling data and relevant information to assist prospective buyers to access to information pertaining products, sources of raw materials, specification of products and services, etc.  
Anticipating that satisfaction of 80% of the users would be revealed.*



### Five main sub-strategies to be utilized

4. *Providing and Increasing Opportunities for People to Start Business as well as Suggesting New Approaches to Their Investment*



*Acknowledging that some number of small entrepreneurs start their business in traditional manners without knowledge in business and even lacking perception of understanding prospects of conducting business.*

### Five main sub-strategies to be utilized

5. *Promoting and Developing Ambiences of Bangkok with an Aim of Becoming the regional Travel Destination*

*Establishing the gateway linking various cities and countries together via networks on tourism  
Recommending interesting venues for tourism of each city and country  
Anticipating that an increase of tourists up to 5% per year*



### The Campaign of Together We can



1. Participated by every sectors of Bangkok metropolitan invited to
  - \* renovate damaged both public and private buildings
  - \* clean and repair streets, public park
2. Reduced household taxes, land and property taxes on those affected by the unrest



### The Campaign of Together We can



3. Provided arrangement for spaces to vendors, small and medium entrepreneur affected by the incident to continue business without rental fees
4. Established incentives upon foreign investors by setting "Team of Bangkok" to assist those investors in facilitating their business as well as matching them with potential prospective Thai business partners.



**THANK YOU**

## (2) 釜山広域市

### 地域間の協力推進を通じたアジア太平洋地域の発展方案

釜山国際交流財団 事務局長 金東旭

アジア太平洋地域都市は、永い歴史を通して地域的なアイデンティティと共同体的価値を構築してきた。今日の世界は民族国家を越えて、世界国家として統合されつつあり、21世紀の国境のないグローバル時代を迎え、国家間の競争は日々熾烈になりつつあるが、似通った文化と歴史を持ったアジア太平洋地域都市が緊密な協力体制を構築すれば、ヨーロッパ連合などによる世界経済秩序よりも効果的に、強力に対応できるものと期待している。

#### 1. 釜山の都市の基本現況および市政目標

釜山は大韓民国第1の国際貿易港で、日本やヨーロッパ等のいろいろな国々を繋ぐ関門都市である。人口は3,574千人で、面積は766.1平方キロメートルである。釜山の予算規模は2010年基準で約10兆6,800億ウォンである。2008年基準の地域総生産は約56兆3,840億ウォンである。

また世界的な景気低迷にもかかわらず202万人の観光客が訪れる大韓民国で第一の美しい休養・観光都市である。

コンテナ貨物処理物流は1,345万TEUで、これは世界5位であり、名実共に物流のハブ都市と言える。釜山は東北アジアの港湾・物流のハブ都市であり、大陸と海洋の関門都市として重要な地政学的な位置を占めている。現在、釜山では9ヶ国24都市に206便の国際航空便が毎週運航されている。

#### 2. 釜山発展のための政策方向

釜山はスマート成長、環境に優しい緑色成長、創造都市という3つの発展指標を基本として、新再生エネルギー産業の育成、グリーンヴィレッジの造成等を通して持続可能な経済成長基盤を用意すると同時に市民生活の質を向上させ、都市品格を高めていく施策を重点的に推進している。

市政のすべての政策は、このような構想の下で「世界一流都市・釜山実現」に焦点を合わせているとすることが出来る。

具体的にもう少し説明を申し上げれば、スマートな成長とは都市の質的、内的な成長を重視し、計画的な成長管理を通じた市民生活の質の向上を意味する。

緑色成長は、最近のグローバルな話題である環境に優しい開発方式を通じた持続可能な成長で、雇用の創出は勿論、究極的には低炭素緑色成長を目指す。

ご存知のように釜山の歴史は1407年に釜山浦が開港され、現在に至るまで約600年の歴史を有する古い都市である。

このような理由で釜山広域市は住居・文化・福祉問題を統合的に解決でき、歴史と創意性に基盤をおいた創造的な都市再生のために努力している。

#### 3. 釜山広域市の国際交流の現況

釜山広域市の国際交流政策の方向は、アジア太平洋地域の主要都市との協力を強化し、国際都市釜山の地位を強化して、国際交流を持続的に拡大しながら、姉妹都市との交流を活性化して、

アジア太平洋地域の国際交流の実質的な中心都市として飛躍するという目標を持っている。

釜山広域市の国際交流のための主要施策としては、毎年釜山の広報、外国人による投資の誘致、経済分野の交流などのために「市代表団海外歴訪」を実施している。

またヨーロッパの戦略的な拠点都市との姉妹提携を持続的に拡大していくためにヨーロッパの主要都市との交流のための努力を傾けている。

釜山は、市傘下の機関として釜山国際交流財団を設立して、民間レベルの国際交流事業を推進している。6. 25 朝鮮戦争に参戦した勇士の遺体が安置されている世界平和を守護する象徴である「UN 記念公園」では、UN Day 記念式を毎年開催している。

釜山は、新しい都市との交流努力と併せて既存の姉妹都市との絆強化のために弁論大会の開催、韓国語弁論大会の支援、ファームツアー、ボランティア団の派遣などを推進している。

今年はプノンペン姉妹結縁 1 周年、ホーチミン姉妹結縁 15 周年行事も企画している。また北米、ヨーロッパ等の遠距離にある姉妹都市との友好関係も持続的に維持するために文化交流、都市写真展の開催を企画するなど、ロシア（ウラジオストク）、モントリオール、ドバイなどの遠距離にある姉妹都市との交流活動も活発に繰り広げている。

#### 4. アジア太平洋地域の主要都市との交流協力の施策

釜山は、福岡と超広域経済圏の形成を通じた地域経済協力の方策を摸索するために緊密な協力関係を構築しており、8月26日には「釜山・福岡経済協力事務所」が韓国と日本で同時に開所し、本格的な運営に入った。またアジア太平洋都市サミットや東北アジア自治団体連合会議にも毎年参加している。

また世界地方自治体連合アジア・太平洋会議総会や東アジア経済交流推進機構総会にも毎年参加しており、特に今年11月には第19回韓日海峡知事会議が釜山で開催される。このために先週末に、実務会議が二日間にわたって釜山で開催された。

#### 5. アジア太平洋地域との協力方策

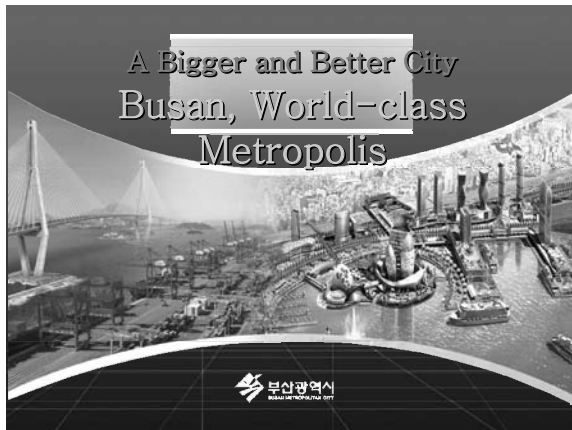
21世紀グローバル時代は、米国とソ連の冷戦時代が幕を下ろしてからはEUが結成されるなど、地域単位を中心にして経済がブロック化されていく傾向にある。

アジア太平洋地域の都市との間で、地域のアイデンティティーと共同体的な価値を土台にして、協力と統合体制を構築すれば、EUに相応する共同協力体制を構築できるものと考え、釜山はこのような東アジア都市間の協力のために各種会議体に参加して活動している。

アジア太平洋地域の利益を最大化するためには、アジア太平洋地域の都市が持っている資本・技術・労働の相互補完を通して、経済共同体構築のために努力していくべきである。

このためにアジア太平洋地域の都市は、政治・経済・社会・文化的に同質性と異質性が共存するという事実をお互いが認めて、可能な範囲内で人的・物的な交流の拡大と共に文化・スポーツ・学術などの分野で地方政府間の交流を拡大していかなければならないと考えている。





Basic Information

- Population : 3.57 million
- Area : 766.1 km<sup>2</sup> (0.8% of South Korea's territory)
- Budget : KRW 10.68 trillion (2010)
- RGDP : KRW 56.38 trillion (2008)
- Exports : US\$ 9.5 billion (2009)
- Imports : US\$ 10.7 billion (2009)
- Establishments: 260,000 (3,865 manufacturing companies)(2008)
- Container Handling Capacity: 13.45 million TEU (2008)  
(world's No. 5, 75.1% of the national total)
- Air Transportation: 206 flights per week  
to/from 24 cities in 9 countries

BUSAN METROPOLITAN CITY



Policy Direction for Development

- Smart Growth**
  - Improving the quality of life through economic growth and environmental conservation
  - Managing the planned city development focusing on qualitative and substantive growth
- Green Growth**
  - Finding new growth engines and promoting a low carbon green growth to enhance the quality of life
  - Building a Green Eco City, creating jobs through sustainable growth
- Creative City**
  - Regenerating the city as a creative city based on its history, culture and creativity
  - Closing the gap in daily living conditions by integrating and addressing housing, cultural and welfare issues

BUSAN METROPOLITAN CITY



## Objectives of International Exchange Programs in Busan



### Advanced Global City Open to the World

#### Hub of International Exchanges in the Asia-Pacific Region

Stronger cooperation with major cities in the Asia-Pacific region

Promoting Busan as a global city & expanding international exchanges

Increasing exchanges with sister cities

## Major Policies on International Exchange

### 1 Busan City Delegation's Visit to Overseas Countries

- The official delegation composed of city officials, councilors, members of Busan Sister City Committee, businessmen and journalists undertakes a biannual visit, to promote Busan as a global city, attract FDI and expand exchanges in tourism, economy, science and technology.

### 2 Establishment of Sister-City Relationships with Major Cities

- Busan seeks a sister-city relationship with European municipalities to help local companies set up their operations in the European market by taking the advantage of the Korea-EU FTA, which will soon be ratified.
- The contact with candidate sister cities are preceded by full understanding of specific areas of cooperation and mutual interest.

## Major Policies on International Exchange

### 3 Partnership with Other Organizations

- Joint projects with the Busan Foundation for International Activity (BFIA) and other private organizations for international exchanges
- Collaboration with the Governors Association of Korea  
Through the KZH program, Busan City invited public officials from Hamburg, Ho Chi Minh, and Phnom Penh to work in Busan for 6 months.

### 4 The 65<sup>th</sup> UN Day Ceremony

- Busan will host the 65<sup>th</sup> UN Day Ceremony (Oct. 22) inviting diplomats and delegates from countries that fought under the UN flag.
- Performances, including chorus performances, and Chrysanthemum Festival to commemorate the UN Day  
→ Promote the UN Memorial Cemetery in Korea (UNMCK), the symbol of world peace, as a world-renowned destination.

## Promotion of Exchanges with Sister Cities

### 1 Strengthening Ties with Sister Cities

- Building the foundation for a friendly cooperation to realize the Busan-Fukuoka Cross-Border Mega-City Region (MCR)
- Participating in international events hosted by sister cities
- Inviting public officials and citizens of sister cities to Busan
- Dispatching volunteers to sister cities
- Arranging commemorative events celebrating an anniversary of the establishment of the sister-city ties

## Promotion of exchanges with sister cities

### 2 Promoting Cooperation with Sister Cities at a Distance

- Visit to Hamburg, Germany in February
- Sending the cultural delegation to Istanbul in February, featuring a photo exhibition on Busan City and Taekwondo demonstration
- To visit St. Petersburg for cultural exchanges in September
- To attend the World Cultural Forum in Valparaiso, Chile in October
- To celebrate the 10<sup>th</sup> anniversary of the sister-city relationship between Busan and Montreal in September with a photo exhibition and Taekwondo demonstration
- Bolstering exchanges with far-away sister cities such as Dubai

## III. Exchange Projects with Major Cities in Asia-Pacific

### Exchange Projects with Major Cities in Asia-Pacific

#### 1 Cross-border Cooperation Projects (64 projects)

- Joint projects for practical exchanges between Busan and Fukuoka
- Active participation of the citizens: Participating in each other's marathon competition, Korean Speech Contest, etc.

#### 2 The Asian-Pacific City Summit

- Mayors from 26 cities in 3 countries to attend the meeting in Vladivostok
- To discuss how to address the urban issues and strengthen cooperation for a common prosperity in Asia-Pacific region.

#### 3 The 8<sup>th</sup> NEAR General Assembly

- Mayors from 70 cities in 6 countries to attend the meeting at KINTEX, Korea in October
- To promote the continued development for member cities and to lay the groundwork for a common development in Northeast Asia

### Exchange Projects with Major Cities in Asia-Pacific

#### 4 The 3<sup>rd</sup> UCLG ASPAC Congress 2010

- About 110 member cities to convene in Hamamatsu, Japan in October
- Exchanging valuable information and technologies for the further development of local governments across the world

#### 5 The 4<sup>th</sup> OEAED General Assembly

- Mayors and Presidents of Chambers of Commerce from 10 cities in 3 countries to meet in Qingdao, China in November
- Creating a new Mega-City Region through a closer networking among cities in East Asia

#### 6 The 19<sup>th</sup> Korea-Japan Strait Coastal Region Governors' Meeting

- Mayors and governors from 8 cities and provinces along the Korea-Japan Strait to meet in Busan in 2010
- Presentations on areas of common interest, Dialogue with Residents



## IV. Ways for Asia-Pacific Regional Cooperation

**Ways for Asia-Pacific Regional Cooperation**

- Global Changes**
  - The end of the Cold War → “One Europe” with the launch of the European Union (EU)
  - The trend of building a regional bloc
- Necessity**
  - For a prosperous Asia-Pacific region that can match the EU
  - Building a cooperative and unified system among Korea, China, Japan and other Asia-Pacific countries, based on regional identity and common values
    - To maximize common interests in the region
- Regional Organizations**
  - The Korea-Japan Strait Coastal Region Governors' Meeting, the Organization for the East Asia Economic Development (OEAEED), the Association of North East Asia Regional Governments (NEAR), UCLG ASPAC, the Asian-Pacific City Summit, ASEAN, etc.

**Ways for Asia-Pacific Regional Cooperation**

- Goals**
  - Collaborating to build an Asia-Pacific economic community through complementary capital, technologies and labor force
    - To maximize common interests
  - Respecting the differences and diversity in politics, economy, society and culture → “One Community”
- Challenges**
  - Cities in Asia-Pacific region recognize the coexistence of homogeneity and heterogeneity in areas of politics, economy, society and culture
    - To increase people-to-people and physical exchanges as much as possible
    - To expand the scope of exchanges to culture, sports, academics, etc.

